

＜地球温暖化対策＞ CO₂換算温室効果ガス算定表 (令和7年度)

【施設名:水道事業所 除く】

対象ガスの種別	調 査 項 目 (主要なもの)		算 定 必 要 の 性	活動量	単位		排出係数	地球温暖化係数	CO ₂ 換算 温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)					
	◎:全て算定の対象 ○:自ら実施している場合算定の対象 △:可能な範囲で算定が望ましい								小 計	ガス種別計				
二酸化炭素 (CO ₂)	イ・燃料 使用量	揮発油 (ガソリン)	◎	12,005.96	L	×	2.32	×	1	=	27,853.827	1,472,821.559		
		灯油		1,661.0	L	×	2.49	×		=	4,135.890			
		軽油		1,457.6	L	×	2.58	×		=	3,760.608			
		A重油			L	×		×		=	0.000			
		B重油			L	×		×		=	0.000			
		C重油			L	×		×		=	0.000			
		液化石油ガス (L P G)		13,299.8	kg	×	2.99	×		=	39,766.402			
		液化天然ガス (L N G)			kg	×		×		=	0.000			
		都市ガス		188,584.0	m ³	×	2.05	×		=	386,597.200			
	ロ、電気使用量	◎	2,552,292.0	kWh	×	0.396	×	代替値(省令 の排出係数)	=	1,010,707.632				
	チ、一般廃棄物の廃ﾌﾞﾗｰ類の焼却量	○		t	×		×		=	0.000				
	リ、産業廃棄物	廃油の焼却量	○		t	×			×	=	0.000			
		廃ﾌﾞﾗｰ類の焼却量	○		t	×			×	=	0.000			
メタン (CH ₄)	イ、ボイラー・燃料 使用量	木材使用量	○		kg	×		×	28	=	0.000	55.869		
		木炭使用量			kg	×		×		=	0.000			
		ツガ燃航空機・自動車・ガソリン機関		灯油	○		L	×			×		=	0.000
				軽油			L	×			×		=	0.000
	A重油			L		×		×	=	0.000				
	B重油			L		×		×	=	0.000				
	C重油			L		×		×	=	0.000				
	液化石油ガス (LPG)			kg		×		×	=	0.000				
	液化天然ガス (LNG)			kg		×		×	=	0.000				
	都市ガス			m ³		×		×	=	0.000				
	ナ、自動車の走行量	(ガソリン・LPG) 普通・小型自動車	◎	45,745.0	km	×	0.00001	×	=	12.809				
		軽自動車		21,602.0	km	×	0.00001	×	=	6.049				
		普通貨物車		0.0	km	×	0.000035	×	=	0.000				
		小型貨物車		26,937.0	km	×	0.000015	×	=	11.314				
		軽貨物車		36,684.0	km	×	0.000011	×	=	11.299				
		特殊用途車		10,919.0	km	×	0.000035	×	=	10.701				
		普通・小型自動車		0.0	km	×	0.000017	×	=	0.000				
		普通貨物車		0.0	km	×	0.000015	×	=	0.000				
	小型貨物車	1,822.0	km	×	0.0000076	×	=	0.388						
	特殊用途車	9,096.0	km	×	0.000013	×	=	3.311						
	キ、下水終末処理場での下水処理量	○		m ³	×		×	=	0.000					
	ユ、一般廃棄物	焼却量(準連続燃焼式)	○		t	×		×	=	0.000				
		焼却量(バッチ燃焼式)			t	×		×	=	0.000				
	一酸化二窒素 (N ₂ O)	イ、ボイラー・燃料 使用量	木材	○		kg	×		×	265	=		0.000	528.757
			木炭			kg	×		×		=		0.000	
			B重油			kg	×		×		=		0.000	
			C重油			kg	×		×		=		0.000	
		エデ燃航空機・自動車・ガソリン機関	灯油	○		L	×		×	=	0.000			
			軽油			L	×		×	=	0.000			
			A重油			L	×		×	=	0.000			
			B重油			L	×		×	=	0.000			
			C重油			L	×		×	=	0.000			
			液化石油ガス (LPG)			kg	×		×	=	0.000			
			液化天然ガス (LNG)			kg	×		×	=	0.000			
都市ガス					m ³	×		×	=	0.000				
ノガ燃航空機・自動車・ガソリン機関		灯油	○		L	×		×	=	0.000				
		軽油			L	×		×	=	0.000				
		A重油			L	×		×	=	0.000				
		B重油			L	×		×	=	0.000				
		C重油			L	×		×	=	0.000				
		液化石油ガス (LPG)			kg	×		×	=	0.000				
		液化天然ガス (LNG)			kg	×		×	=	0.000				
		都市ガス			m ³	×		×	=	0.000				
オ、自動車の走行量		普通・小型・軽乗用車	◎	67,347.0	km	×	0.000010	×	=	178.470				
		普通貨物車		0.0	km	×	0.000035	×	=	0.000				
		小型貨物車		26,937.0	km	×	0.000015	×	=	107.075				
		軽貨物車		36,684.0	km	×	0.000011	×	=	106.934				
		特殊用途車		10,919.0	km	×	0.000035	×	=	101.274				
		普通・小型乗用車		0.0	km	×	0.000017	×	=	0.000				
		小型貨物車		1,822.0	km	×	0.0000076	×	=	3.670				
		特殊用途車		9,096.0	km	×	0.000013	×	=	31.336				
ア、一般廃棄物		焼却量(連続燃焼式)	○		t	×		×	=	0.000				
		焼却量(準連続燃焼式)			t	×		×	=	0.000				
		焼却量(バッチ燃焼式)			t	×		×	=	0.000				
ハイドロフルオロ カーボン (H F C 13 種 類) ※種類毎に集計		冷蔵庫・ エアコン	ニ、封入量(漏洩事故による排出量)	○		kg	×		×	種類毎の係数	=	0.000	0.000	
		カー エアコン	ホ、廃棄時(廃棄量)	○		kg	×		×		=	0.000		
			ト、使用時(1年間換算の使用台数)	○		台	×		×		=	0.000		
	チ、廃棄時(廃棄量)		○		kg	×		×	=		0.000			
総 計										1,473,406.185				

【令和7年度 CO₂換算温室効果ガス排出量の評価と今後の方針】
 さわやか健康課及び文化会館の大規模改修に係る事務所移転により、R7年度は電気使用量及び自動車燃料使用量が減少し、CO₂排出量の削減につながった。また本町は、低消費電力のGHP(ガスヒートポンプ)を採用・LED照明の普及・ペーパーレス化の推奨等の省エネルギーの施策を継続的に行っている。
 これらに加え、電気の排出係数が前年度より低下したことから、温室効果ガス排出量が減少したと考えられる。一方で、都市ガス及びLPGの使用量は増加しているため、運用の見直しを図り、都市ガス等の効率的な利用及び増加が予想される電気使用量の削減を課題として取り組む必要がある。